

全学共通基盤科目 域学共創プロジェクト一覧

抽選科目

授業名/テーマ/主提供学科/担当教員名	概要	詳細
<p>100408101 域学共創プロジェクト B 道の駅と大学 観光学科 金子 祐介 22人募集 4月10日(金) 2限ガイダンス 基本：S1/S2/F1 期間は毎週金曜日 2限に実施 その他：授業開始後に適宜調整を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SS 期間に地域外の視察 ・F1 期間に地域調査 ・11月初旬のイベント 	<p>本プロジェクトは、東金市役所(以降、東金市)や九十九里地域観光連盟と連携し、下記の三点を目標に、山武郡市にある道の駅の活用方法を考え、東金市をはじめ山武郡市にある各市町の地域観光に寄与するコース制作やイベント支援を実施しています。</p> <p>目標は、下記の三点としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域のネットワークを構築すること ②地域経済に寄与する観光について検討すること ③通年観光に寄与する地域の仕事を生み出すこと <p>※2022 年度以降、5 ヶ年計画で推進してきたサイクルツーリズム活動も本年度が最終年度となります。</p>	
<p>100408201 域学共創プロジェクト C 山武市在住 高齢者のデジタルデバインド解消プロジェクト 看護学科/理学療法学科/福祉総合学科 四竹美代/竹内遊彦/安田孝/中野元/山根直信/小川明宏 25人募集 4月10日(金)3限ガイダンス 基本：S2 毎週火曜日 3限に4回実施 その他：F1 /F2 期間の土曜日に講習会を3回開催 詳細な日時に関してはガイダンスに伝える</p>	<p>本プロジェクトは、デジタル化が進む日本において取り残されている高齢者のデジタルデバインド(情報格差) 解消に向けて取り組むプロジェクトです。高齢者におけるデジタルデバインドの現状及び高齢者へのスマートフォンの教え方等に関して外部講師からの講義を受講し、デジタルコーチになってもらいます。その後、山武市在住の高齢者を対象としてスマートフォン講習会を企画運営してもらいます。講習会は3回実施します。</p>	
<p>100408301 域学共創プロジェクト D オリーブ産地化プロジェクト 医療薬学科/メディア学科/看護学科 光本 篤史/ 戸田 傑 / 石田ゆかり 30人募集 4月7日(火) 2限ガイダンス ※予定が合わない場合の連絡(amitsumo@jiu.ac.jp) 基本：S1/S2/SS/F1/F2 水曜か金曜午後 その他：授業開始後に適宜調整を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月収穫体験 ・11月大学祭 ・10-12月クラウン制作 	<p>東金市とともにオリーブの地域ブランディングを推進していくプロジェクトです。「オリーブ収穫体験の企画・運営」「大学祭イベントの企画・実行」「オリーブクラウンの制作・提供」などに取り組む中で、地域の課題を見つけ、解決策を提案し、実践することを通して、課題発見問題解決力を身につけます。今年度は「オリーブ葉パウダー (OLP)を活用して取り組む食商品の開発」をさらに展開します。2022年入学生から履修登録可能です。</p> <p>オリーブやヘルスケア、デザインに興味がある学生、地域を元気にするアイデアを持つ学生の参画をお待ちしています。</p>	
<p>100408401 域学共創プロジェクト E 川代棚田共育プロジェクト 福祉総合学科 姜 東星 / 高橋 淳一郎 15人募集 4月23日(木) 4限ガイダンス 基本：S1/S2/F1 木曜日に4回事前学習 ※予定が合わない場合、適宜調整を行う その他：授業開始後、適宜調整を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月：田植え ・6月：デイサービスセンターとの交流会 ・8月：稲刈り ・10月：収穫祭 	<p>本プロジェクトは、地域共生社会の価値を体験的に学び、福祉の視点からまちづくりを考える実践型プロジェクトです。具体的には、学校法人城西大学の創立者である水田三喜男先生の故郷、千葉県鴨川市を訪れ、豊かな自然に囲まれた棚田で田植えや収穫などの農作業を体験します。稲作や祭りなどの日本独自の農業文化体験を通して、お米づくりの意義や棚田を守ることの大切さを学びます。さらに、棚田の魅力や地域が抱える課題を自ら発見し、地域の課題解決や活性化に取り組む姿勢を育みます。実践的に学びたいと考える日本人学生・留学生の積極的な参加を歓迎します。棚田に関心のある方、日本の原風景に触れてみたい方、ぜひ一緒に参加してみませんか。心温まる体験が皆さまをお待ちしています。■</p>	

<p>100408501 域学共創プロジェクト F 地域に住まう人々の健康増進と障害予防に向けた実践活動 理学療法学科 安齋 紗保理 / 大杉 紘徳 / 深谷 泰山 15人募集 4月7日(火) 3限ガイダンス (予定) 基本：S1/S2/F1/F2 期間は毎週土曜日に実施 (月1回程度) その他：授業開始後に適宜調整を行う 各クォーター内：座学学習</p>	<p>本プロジェクトでは『健康増進、障害予防』に焦点を当て、地域での実践活動をとおり、地域にはどのような健康課題があるのか、それを解決するためにどのような取り組みが必要なのかを考えます。地域に住まう方々を対象とした体力測定や地域の方々と一緒に健康課題について話し合うグループワークも行っています。 ①地域の方々の体力測定会の実施と体操指導 ②市民公開講座の運営 ③地域の方々と、健康・運動に関する現在の課題についての話し合い ④地域の方々と一緒に、健康・運動に関する企画の立案・実施</p>	
<p>100408901 域学共創プロジェクト I 山武の豊かな自然を保全し活用するプロジェクト 総合経営学科 国武 陽子 15人募集 4月23日(木) 1限ガイダンス その他：授業開始後に適宜調整を行う S1/S2/F1：木曜日一限(不定期)に実施 S1/S2/SS/F1：最低月2回の地域活動 ※但し、右記の複数プロジェクトを年間通じ実施しているので、どれに参加するかによって参加日数にばらつきがあります</p>	<p>山武を中心とする千葉県内の自然環境の保全、農業などに関わる複数のプロジェクトを年間通じ実施します。 プロジェクト内容例 (変更の可能性あり) ①地域×自然：絶滅危惧種トウキョウサンショウウオの保全活動 ②地域×自然×観光：ホテルが住める谷津田を活用した地域の魅力再生 ③地域×環境×ビジネス：有機米の町の古民家で学生カフェを運営 ④地域×環境×農業：山武のいちご一援農でフードロスを減らす取り組み ⑤地域×自然×教育：東金文化会館での夏休み生物展開催プロジェクト</p>	

人数制限なし

授業名/テーマ/主提供学科/担当教員名	概要	詳細
<p>100408001 域学共創プロジェクト A 風のアール・ブリュット -ココロ・ポリリズムズ ⅡⅠ- (美術展の開催) 看護学科 伊賀 聡子 / 森山 拓也 4月21日(火) 5限ガイダンス その他：授業開始後に調整を行う ・S1～S2：土曜日2回程度 ・F1～F2：美術品搬出・搬入 (各1回)</p>	<p>障がい者の生の芸術と呼ばれる、アール・ブリュット作品の展示会を通して、障がいのある方々と地域の方々と「つなぐ」架け橋となるプロジェクトです。 障がい者施設と、厚生労働省障害者芸術文化普及支援事業を手掛けるこまちだたまお先生、本学の水田美術館に協力をしていただきながら、障がいのある方々の「地域との繋がりに乏しい」という課題の解決に向けた取り組みを推進します。</p>	
<p>100408601 域学共創プロジェクト G ケア機能のあるまちづくり 学童保育における命を守る防災教育 看護学科 柚山 香世子 / 丸山 あかね 4月6日(月) 5限ガイダンス 基本：S1/S2 期間、週1回程度活動 その他：授業開始後に適宜調整を行う ・S1/S2 期間：1～2回程度、土曜日活動の可能性あり ・8月末～9月初頭にも活動予定</p>	<p>本プロジェクトでは、未来の担い手である子どもへの防災教育・普及活動を通して、地域住民との交流による新たなコミュニティづくりについて検討します。主なフィールドは学童保育になります。防災教育の必要な子どもには、健康な子どもだけではなく、耳の不自由な子どものような何らかの障がいをもつ子ども、日本語の不自由な外国人の子どももいます。そういった子どもへの配慮や働きかけを地域の方々と一緒に考えていきます。地域の方々と連携・協働した防災教育・普及活動を実践し、関わる方、一人ひとりが防災の主体者に育ちゆくこと。さらには、地域の一員であるという連帯意識に繋げることを目指します！</p>	
<p>100408701 域学共創プロジェクト H 東金市の祭りと伝統芸能 国際文化学科 長谷川 貴志 初回授業日は授業登録者にメールなどで連絡し調整 基本：S2、SS、F1の土曜日 その他：授業開始後に適宜調整を行う ・S2/F1：土曜日に数回の地域活動 ・日吉神社連合祭典への参加</p>	<p>本プロジェクトでは、東金市で古くから行われている祭りや伝統芸能について、その歴史や成り立ち、意味合いなどを実際に関わっている人々から聞き、それらが地域にどのように根付いているのか、さらに、人々との関わりが地域を構成するうえで大切な役割をしていることを理解することを目的としています。そして、実際に祭りに参加することにより、地域への貢献へ繋がりたいと考えています。</p>	

※上記の左欄に書かれた実施日程以外に、2月上旬に地域に向けた報告会を実施します。